

馬、たてまつる 一埴輪からおまんと、競馬まで

高浜市が誇る馬の祭礼「おまんと」にちなみ、市制45周年を迎える今年、「馬」をテーマにした展覧会を開催します。

日本に馬がやってきたのは、今から1,600年ほど前の古墳時代のことと考えられています。乗馬の風習や飼育の技術も伝わり、馬具を装備した姿は、古墳に設置された馬形埴輪に見ることができます。以降現代まで、馬は通信、輸送、農耕、軍用などさまざまな形で人と深く関わりました。また、神聖な動物として神社に奉納されるなど、信仰の面においても、現在まで重要な存在であり続けています。

本展覧会では、馬形埴輪や古墳から出土したきらびやかな馬具、源平の騎馬武者の活躍が描かれた屏風、第36回有馬記念優勝馬「ダイユウサク号」を育てた高浜市出身の騎手・調教師内藤繁春さん関係資料、「おまんと」の神馬の背に乗せる御幣など、150点以上を展示します。

人と神を結び、人をより広い世界へと導き、人を助け、時には人の夢を乗せて走るなど、人と豊かなかかわりを持ち続けてきた馬を愛でる機会となれば幸いです。



▲高浜おまんと祭り
神馬御幣および馬具一式 碧海町蔵

開催期間：7月18日(土)～9月6日(日)

主催：高浜市やきものの里かわら美術館、朝日新聞社

後援：愛知県教育委員会、高浜市、高浜市教育委員会、高浜市観光協会、NHKプラネット中部、名古屋鉄道株式会社

観覧時間：午前9時～午後5時（観覧券の販売は午後4時30分まで）

観覧料：高校生以上600円（480円）、中学生以下無料
※（ ）内は前売、高浜市内在住者および20人以上の団体料金
※75歳以上の方、各種障がい者手帳を持っている方ほか、割引あり
※観覧券は当館のほか刈谷市美術館（前売のみ）、チケットぴあ、サークルKサンクス、セブン-イレブンでも販売
【Pコード：766-870】
（7月17日(金)まで前売料金、会期中は当日料金）

休館日：月曜日（7月20日は開館）、7月21日(火)

馬形埴輪▶
（岡崎市・外山3号墳出土 / 5世紀末～6世紀）
岡崎市教育委員会蔵



写真提供：岡崎市美術博物館



▲平家物語図屏風（右隻／江戸時代）馬の博物館蔵
※前期（～8/12）のみ展示

| 関 | 連 | 行 | 事 |

●講演会「馬の日本史」

内 容：馬の生態、活躍、馬の道具など、日本の馬と馬にまつわる歴史について
日 時：8月23日(日) 午後2時～
講 師：長塚 孝氏(馬の博物館学芸部長)
場 所：3階講会議室
参加費：無料
募集人数：先着40人
申 込：7月19日(日) 午前9時～
電話にて受付

●ちいさなワークショップ「馬だけのどうぶつえん！」

内 容：紙や粘土やいろいろな材料で、すてきな馬を作りましょう。
日 時：8月30日(日) 午前10時～正午、午後2時～4時の随時
場 所：1階ロビー
参加費：無料